

平成29年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実 施 報 告 書

HT29239 プログラム名 「体操名人になろう！」



開 催 日：平成29年7月29日(土)  
平成29年7月30日(日)  
実 施 機 関：佛教大学 紫野キャンパス  
(実施場所) 鷹陵館地下1階 第一体育室  
実施代表者：山口孝治  
(所属・職名) (教育学部・教授)  
受 講 生：小学5、6年生 13名、14名  
関 連 URL：<http://www.bukkyo-u.ac.jp/news/detail/9754/>

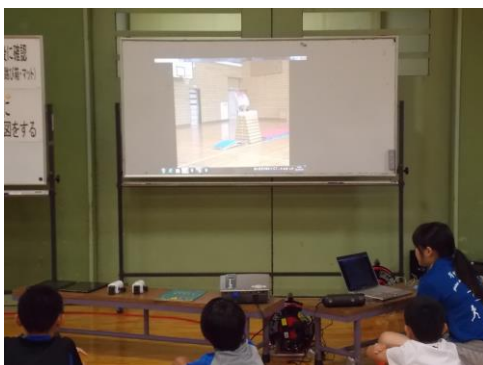
### 【実施内容】

参加児童には、まず最初に挑戦したい技を選択させた。このとき、提示した技は跳び箱(開脚跳び、台上前転、あおむけ跳び、ヘッドスプリング、ハンドスプリング)、マット(側転、ロンダート)、鉄棒(逆上がり、前方支持回転、後方支持回転)の3つの運動であった。児童は、自分の選択した技の獲得を目指して「練習の場」や「確かめの場」で挑戦したり、自分のできばえをタブレット端末で確認しながら挑戦したりした。児童の活動中は教員ならびにゼミ学生が、個々に活動を円滑に進めるようサポート体制をとった。具体的には、マンツーマン、あるいは複数の学生でひとりの児童を援助するという体制で進めた。最後に、一人ひとりに修了証を授与し、記念撮影を行った。

### 【当日のスケジュール】※7/29(土)・7/30(日) 同一開催

09:30-10:00 受付(佛教大学第一体育室前に運動ができる服装で集合)  
10:00-10:10 開講式(あいさつ、科研費と本事業の説明)  
10:10-10:25 オリエンテーション(技の獲得のポイントと観察の視点)  
10:25-10:30 目標設定(自分の練習・達成目標を決める)  
10:30-10:35 準備運動(ストレッチ体操等)  
10:35-11:45 器械運動実技(途中適宜休憩)  
11:45-12:00 発表会(一人ひとりが試技、自分の成果をみんなの前で披露)  
12:00-12:15 活動まとめ(活動を振り返り、良かった点やこれからがんばってほしい点を講評する)  
12:15-12:30 修了式(未来博士号授与、アンケート記入)、記念撮影  
12:30 解散

### ・実施の様子



技の種類を動画でチェック



各人の目標に向かってチャレンジ(跳び箱)



各人の目標に向かってチャレンジ(マット)



各人の目標に向かってチャレンジ(鉄棒)



自分の技を動画でチェック



発表会(みんなの前で試技)



修了式



全員に未来博士号が授与されました

#### ・事務局との協力体制

実施代表者、学術支援課、施設課、広報課が数次にわたり事前ミーティングを行ない、安全上の配慮や広報活動について実施運営した。学術支援課と財務課が委託費の管理と確認を行なった

#### ・広報体制

大学ホームページで6月から募集し、京都市内の全小学校へチラシを送付したほか、学内の教員および事務職員に対してメールの一斉送信による案内も行なった。

#### ・安全体制

実施代表者のゼミ学生(小学校教師を志望する3・4年生学生)が補助を行った。また、健康管理センターを開室して看護師が常駐し、万一来に備えた。

#### ・今後の発展性、課題

前々回までは、跳び箱運動に限定して活動を進めてきたが、前回よりマット運動や鉄棒運動も可能なように選択できる運動の範囲を広げた。さらに、それぞれに提示する技を広げることでその発展性は期待できる。

一方、当初予定していた募集人数は、各日15名であったが、実際の参加数は13名と14名であった。当日の参加辞退によるものであったが、こうした事態に対する対応のあり方が課題として考えられる。

【実施分担者】 〇 名

【実施協力者】 22 名

【事務担当者】 吉田勝彦 (学術支援課 課長補佐)